

平成29年度 千葉県立千葉北高等学校の取組

1 学習指導の充実

日々授業研究を実施し、わかりやすい授業を展開

各教員による興味・関心を引きつける授業の工夫

(1) 授業力向上を目指した取組

- ① 授業公開及び授業錬磨 5月12日(金)、10月2日(月)
保護者や地域住民だけでなく、近隣の中学校からも多数の生徒・職員が来校し、授業を参観
- ② 職員相互の授業参観週間 1回目: 6月5日(月)～6月9日(金)
2回目: 10月3日(火)～10月6日(金)
互いの授業を見せ合い、授業力の向上へ
- ③ 特色ある道徳教育推進校 公開研究授業及び研究協議会 10月2日(月)
千葉県教育委員会から指定 公開研究授業の他、外部教育機関と連携したプログラムを実施
- ④ 管理職による授業観察及び事後指導
全職員の授業を管理職が観察し、適宜アドバイス

(2) わかりやすい授業の工夫

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の定着
テキスト(教科書)や資料集だけでなく、自作のプリントやICT機器、映像教材なども使用
わかりやすい授業を目指して各教科担当者が工夫
- ② 授業の工夫・日頃の授業内容の定着
ペアやグループでの活動や発表も実施
言語活動をメインとした生徒参加型の授業を目指した工夫
各教科で平常時や長期休業時に課題を配付
常用漢字テスト・英単語テストを年間15回ずつ実施



ICT機器や映像教材を使用、板書や教材を精選し、わかりやすい授業を実践



ペア・グループワークを活用し、生徒同士で学び合うことで、思考力や表現力を育成



お互いの考えを共有し、より深い議論・思考へとつなげていく授業を展開(1年・道徳)

(3) 家庭学習習慣の定着

- ① 「今未来手帳」の利用(1学年)
「今未来手帳」という手帳を学年全生徒に配付、実施。計画性と主体性を持った時間管理と、学習習慣の定着が進路実現の鍵。毎日の学習時間も記録・管理。2学期中間考査前の2週間で合計100時間近く学習する生徒も見られるなど、今後にも期待。

2 生徒指導の充実

安全で安心な学校づくり

地域からも評判の落ち着いた学校

(1) 生徒の状況

1 学期末の皆勤者数

1年：285名 2年：243名 3年：233名 全校1071名中、761名（約71%）

(2) 生活習慣の定着

① 登校指導 年3回（5月・10月・1月）実施

期間（2週間程度）中、生徒指導部職員を中心に正門付近で生徒への挨拶や声掛けを実施
遅刻の多い生徒には後日遅刻指導（午前8時登校）

※年間を通して職員が生徒昇降口付近で挨拶や声掛けを実施中

② 服装頭髪検査 年3回 4月・9月・1月

毎学期始めに服装や頭髪、身だしなみを点検し、基準に満たない生徒には改善するよう指導

③ 整容指導 ※整容：身だしなみ（容姿）を整えること

授業の開始時や集会時には「整容」の掛け声のもと、自分の身だしなみを整える習慣をつけさせる
※女子のスカート丈について本校ではひざ丈を堅持しており、近隣からの評価を受けている。

御家庭でも、御指導よろしくお願いいたします。

授業見学の時、すれ違う際に生徒や先生があいさつする姿が好印象でした（保護者）

(3) 部活動（平成26～29年度）

① 全国大会出場

弓道部 ワンダーフォーゲル部 美術・工芸部 ラグビー部（女子）

② 関東大会出場

ラグビー部 水泳部

③ 県大会出場

男女バレーボール部 男女バドミントン部 男女バスケットボール部
ソフトボール部 男女テニス部 男女卓球部 陸上部 サッカー部

④ その他

生物部（千葉大学主催高校生理科研究発表会にて優秀賞を受賞）※3年連続



・よりいっそうクラスの仲が深まった。
・行事を通して、自分ももっとクラスに貢献したいという気持ちが強くなった。（本校生徒）



（左上）北斗祭（＝文化祭）の様子
毎年恒例の書道パフォーマンス
（右上）合唱祭の本選の様子
クラス全員が一丸となって合唱
（左下）体育大会の様子
白熱のクラス対抗リレー

3 進路指導の充実

個々の進路希望に応じたサポート体制

将来への視野を広げるための充実したプログラム

(1) 進学補講

5教科（国社数理英）のみならず芸術科目（音楽・美術・書道）なども実施
各科目の基礎固めのレベルから入試対策レベルまで生徒の要望に応じて幅広く開講

- ① 平日放課後 1学期：11講座 2学期：7講座

※3学期も開講予定

普段の授業でのアンケートに「大学入試レベルの練習問題などをもっと解きたい」の声

- ② 夏季休業中 13講座

進路指導部主催として実施教科・教室・時間割などを取りまとめ、組織的に運営
4限目（午後）も開講するなど部活動生徒へも配慮

(2) 各種ガイダンス

年間計画に基づいて、生徒のニーズに応じて以下のとおり実施

- ① センター入試説明会（3年生対象）

センター入試の出願、受験に関する説明会

- ② 看護医療系ガイダンス（3年生対象）

看護医療系の上級学校への進学希望者に対して外部講師を招いて指導

- ③ 模擬面接指導（3年生対象）

全職員が一斉に模擬面接を実施

- ④ 就職・公務員ガイダンス（3年生対象）

就職・公務員志望の生徒向けに、事前準備や出願、受験に関する説明会を実施
校内での模擬試験や面接指導も実施

- ⑤ 「なるには」シリーズ（3年生対象）

警察や消防、各市役所等の受験希望者を対象に、上級学校進学後の進路選択も見据え、生徒が主体的に進路選択できるよう、現役の警察官や市役所広報の方を招いて現場で働くことの大変さややりがいなどの内容で講演会を実施（例年）

- ⑥ 上級学校ガイダンス（1・2年生対象）

大学職員による模擬授業（12月に実施）、上級学校関係者による説明会やOB・OGによる体験談（パネルディスカッション方式）を実施（3月に実施）



上級学校ガイダンスの様子
大学の教授らが授業を実演

(3) 大学訪問、オープンキャンパス参加

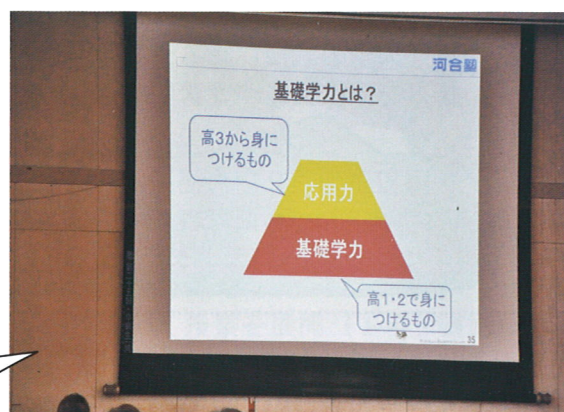
2年生夏休みにオープンキャンパス参加を義務化

(4) 保護者進路説明会

全体の保護者向け：5月12日（金）実施

2年生保護者向け：10月14日（土）実施

保護者進路説明会（2年生向け）の様子
外部機関と連携し、次年度の受験に備えた講演会
保護者としての心構え、家庭での声掛けの仕方や
近年の大学入試のシステムについて説明



日頃の家庭での学習習慣の定着が重要
ご家庭でのお声掛けをお願い致します

4 保護者や地域との連携

(1) 学校ホームページ（HP）の積極的な更新

学校内外における出来事や行事を随時HP上に掲載
本校生徒の活躍する姿や学校全体の活気を地域に発信
学校通信「千葉北NOW」を掲載（生徒昇降口にも掲示）
HP 更新情報を一斉送信メールで連絡

(2) 地域行事への参加

① 緑ンピック

緑が丘中学校区青少年育成委員会が主催する文化と遊びと
スポーツの祭典に本校の吹奏楽部・書道部・茶道部が参加

② 宮野木小学校区家族大運動会

本校の吹奏楽部が演奏を発表し、好評を得た

③ 宮の杜自治会公園清掃

近隣の住民と一緒に公園清掃を実施

④ その他

緑が丘公民館文化祭や避難所開設訓練などの行事にも参加

(3) ミニ集会 ※開かれた学校づくり委員会も年3回実施

10月4日（水）開催



学校の近況がわかる「千葉北NOW」



緑ンピックでの吹奏楽部の発表

5 魅力ある取組

(1) 国際理解教育

① オーストラリア短期留学の実施（7月19日～8月2日）

提携校のセントパトリックスカレッジへ生徒13名を派遣
2週間の期間中、ホームステイをしながら授業にも参加
その他にもパーティーなどのイベントを企画・実施

② 国際理解セミナーの実施（10月26日）

今年度の講師は早稲田大学教授の高野孝子氏
自分の中の壁を乗り越え、何事にも積極的にチャレンジ
することの大切さを自身の体験も踏まえて講演



留学先で現地生徒に日本語を教える様子

(2) 高大連携事業

① 明治大学との連携

明治大学の教授による動物の命に関する講義及びラットの
解剖実習を本校生徒が受講（7月12日）

② 東邦大学との連携

東邦大学の教授による「ヒトの筋肉に関する遺伝子多型分
析」を本校生徒が受講（7月20日）

- ・高校生のうちに貴重な経験ができてよかった
- ・大学生の一員になれたような実感ができて、とてもよかった（本校生徒）

※詳細については本校HPをご覧ください。

URLはこちら <http://www.chiba-c.ed.jp/chibakita-h/>

QRコードはこちら



東邦大学での遺伝子多型分析の実習